

ゼロカーボンアクションレポート Vol.5

「できることから始めよう、暮らしを脱炭素化するアクション！」としてゼロカーボンアクション 30+1 に参加いただいた方々の中から、取り組んだきっかけや内容、成果や良かったことなどについて、レポートにご協力いただきました。皆さんの参考にさせていただきたくご報告します。

【我が家のゼロカーボンアクション】 余目第四学区在住農業者 A・S さん

Q1. ゼロカーボンアクションに取り組んだきっかけをおしえてください。

A. 東日本大震災が起きた際に、その被害を目の当たりにしたことで環境にやさしく自ら発電できる設備が必要だと感じました。

また、J-クレジットに参加し、地球の温暖化対策に少しでも貢献できればと思い取組んだことから今回のゼロカーボンアクションに参加しました。

Q2. 取り組んだ具体的な内容をおしえてください。

A. 平成 24 年に自家消費用の太陽光パネル 6.84kw を設置し、翌年には売電用太陽光パネル 20kw を設置、平成 30 年に蓄電設備を設置しました。

また、家電は順次省エネ家電に買換えし、住宅には断熱サッシなどを導入しました。

J-クレジットへの取組みとしては 31ha の田んぼの中干期間を延長し、メタンガスの排出抑制に貢献しました。

小さなことではありますが「宅配ボックス」を設置し、宅配業者の再訪が不要になるようにしています。

Q3. ゼロカーボンに取り組んだ成果や良かったことなどをおしえてください。

A. 機材設置等については鑑みると直ちにメリットがあったかどうかは定かではないが、売電収入は 39 ~ 42 円/kw であったので始めた時期は的確であったと思います。売電収入のみでは機材設置費用をペイするには 20 年くらいかかるかもしれませんが、自家消費や蓄電設備のメリットは大きいですね。

また、CO₂ 削減による地球温暖化対策には貢献している自負はあるかなあと思っています。

住宅への断熱サッシなどの導入や省エネ家電への買換えはかなりの節電になっています。

J-クレジットの取組みは 3,000 円/10a の収入が見込まれました。この取組みにより削減された CO₂ は約 107t となり、一般家庭の電気使用に換算すると約 56 世帯分の年間 CO₂ 排出量になるそうです。

Q4. 今後、取り組んでいきたいことがありましたらおしえてください。

A. 今後も家電や住宅設備などの更新時にはより省エネ対応のものに切り替えていきたいと思っています。

また、クールビズ・ウォームビズ、食品ロス削減やこまめな電源オフなど普段からできる取組みを継続して節約節減に努め、農業者としては電気、水、ガス、油の節約に気を配りながら環境にやさしい農業に取り組んでいきます。

Q5. これからゼロカーボンアクションに取り組む方へアドバイスがありましたらおしえてください。

A. 省エネ創エネ設備の導入にあたっては初期投資や更新費用などでの負担感は大いと感じますが、長期的な視点の中で節電や電力の自家消費、また地球環境を考えた俯瞰的な視点で一人ひとりが取組むことが大事であると考えます。

また、J-クレジットは地球温暖化対策への効果に繋がっていると思いますので、できる方から取り組んでみてほしいと思います。